



2022.10.12 文責：鬼澤

新型コロナウイルス感染症はいまだ収束せず、関節リウマチ/膠原病患者さんにとっても大きな関心を寄せられる問題です。今回は、新型コロナウイルス感染症とワクチンについて、最近の知見をご紹介します。



新型コロナウイルス感染症と関節リウマチ/膠原病

新型コロナウイルス感染症では、基礎疾患のある患者さんでは重症化しやすいと言われています。関節リウマチ/膠原病の患者さんは免疫を抑える治療を受けていますがどうなのでしょう？

この点について、発症と重症化という2つのポイントで考える必要があります。発症というのは、ウイルスが体内に入った後に増殖して症状を引き起こすことです。ウイルスが体内に入っても無症状のままウイルスを排除できることがあり、その場合には無症候感染と言われます（ワクチン未接種者でも、3分の1程度は無症候感染で治るとされていますし、ワクチン接種により無症候感染で治る割合は上昇します）。これまでのデータでは、関節リウマチ/膠原病の患者さんの新型コロナウイルス感染者での発症の割合は1.5倍程度上昇するのではないかとされています。

重症化については、集中治療室での治療、もしくは人工呼吸器の使用が必要な肺炎を発症することを指します。関節リウマチ/膠原病患者さんでは、重症化しやすいとする報告もあれば、変わらないという報告も多くあります。

どちらかと言えば、メトトレキセートなどの抗リウマチ薬や、生物学的製剤を使用している場合、重症化する割合は増えないとされています。

これはどういうことでしょうか？

一般的なウイルス感染症では、ウイルスが体内に入ると免疫反応が起きて炎症というものを起こし、ウイルスを排除しようとします。新型コロナウイルスの場合、この炎症が過剰になってしまうことが、重症化につながっていると考えられています。そのため重症化した場合、ステロイドや免疫を抑える治療が行われます。関節リウマチ/膠原病では免疫を抑える治療を行っていますので、炎症が過剰になることを防いでいる可能性があります。

以上をまとめると、関節リウマチ/膠原病の患者さんでは、新型コロナウイルス感染症を発症する可能性は若干高まるものの、重症化する確率はそれ程上昇しないと現時点では言われています。過度に心配することはなく、本来の治療は継続した方がよいと考えられます。



新型コロナウイルスワクチン



現時点で、日本で特例承認されたワクチンは4種類あります。ファイザー/ビオンテック社とモデルナ社の2種類のmRNAワクチンとアストラゼネカ社のアデノベクターワクチンがこれまで使用されてきました（リウマチ通信第29号もご覧下さい）。

本年4月にノババックス社/武田薬品工業社の組み換え蛋白ワクチン、6月にヤンセンファーマ社のアデノベクターワクチンも承認されました。また9月からは、現在主流であるオミクロン株に対するmRNAワクチン（ファイザー/ビオンテック社、モデルナ社の2種類）も使用できるようになりました。

これまで多い人で3回接種の5ヶ月経過した後に4回目が接種されています。4回目接種は60歳以上の方、18歳以上60歳未満の基礎疾患を有する方が対象となっています。全員接種ではなく対象者が限定された根拠としては、4回目ワクチンについては、新型コロナウイルス感染症の発症予防効果は明らかでないものの、重症化予防の有効性があるために、高齢者や基礎疾患を有する方のような、重症化リスクの高い方に限定して接種する方針となりました。関節リウマチ/膠原病の患者さんでは、上記のように、多くの場合、免疫の機能を低下させる治療を行っているので4回目接種が勧められます（詳しくは主治医にご確認下さい）。

**関節リウマチ/膠原病患者さんでの新型コロナワクチンの有効性は
どうなのでしょう？**

ワクチンを打つことでコロナウイルスに対する抗体がどの程度（抗体価）できたかで、効果を予測することになります。関節リウマチ/膠原病で免疫を抑える治療をしている場合、ワクチンを打った後の抗体価の上昇が健常者と比べて低いことが分かっています。抗体価はワクチンを接種前後に休薬することで上昇することも知られています（例えばメソトレキセートはワクチン接種後2週間休薬することで抗体価が上昇します。ただし、2週間休薬することで関節リウマチが悪化すると報告されています）。あくまでこれは抗体の数値の問題であり、発症や重症化をどの程度予防できるかという問題ではないことに注意が必要です。

以上から、関節リウマチ/膠原病患者さんにおいてもワクチンを接種することは、メリットがあると考えられ、4回までの接種が推奨されています。治療薬の休薬については、病気が悪化する可能性も高く、個々の患者さんの病状を加味しながらになります。これまでのワクチン接種時と同様の対応でよいと考えられますが、不安な場合は診察の時に主治医と相談してみてください。



■■長浜リウマチ市民公開講座のご案内■■

当センターでは定期的に関節リウマチ教室や市民公開講座を行ってきました。新型コロナ感染症蔓延のために、対面での実施をしばらく行えていませんでした。

今回、久しぶりに市民公開講座をYouTubeという動画サイト内にある、長浜市公式YouTubeチャンネル「はまーるtb」で実施することが出来ましたのでご案内します。

講演後にQ&Aコーナーで寄せられた質問にもお答えしています。

視聴方法としては、
「長浜リウマチ市民公開講座」と入力して
検索して頂くか、右のQRコードを読み取り
アクセスすると見ることができますので、
是非ご視聴頂けましたら幸いです。



受付時間

午前8時15分～午前11時00分

	月	火	水	木	金
107室					田淵
108室	鬼澤	村上	田中	大西	田中
109室	笹井	池崎	藤井(第2・4)	村田	村田(第2・4) 藤井(第1・3・5)
110室	山本				